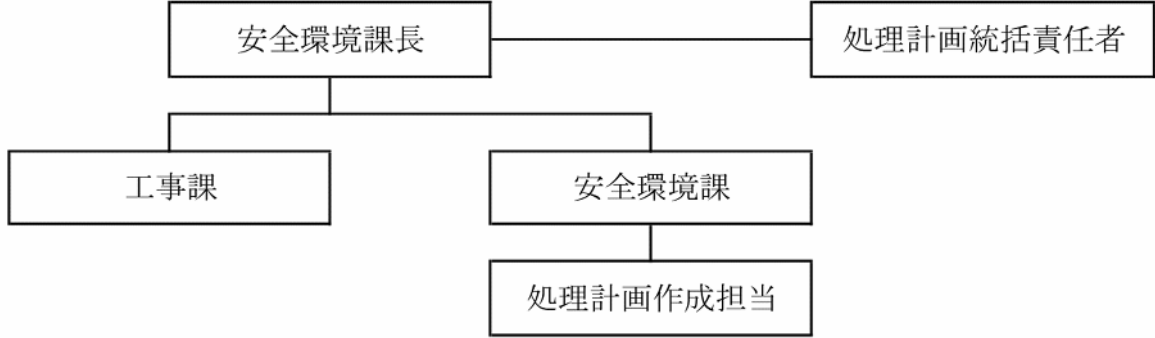


（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和元年6月26日</p> <p>千葉市長 熊谷 俊人 殿</p> <p>提出者 住 所 千葉市中央区都町1-19-1 氏 名 日本道路株式会社 千葉営業所 所長 増子 直 電話番号 043-234-6777</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	日本道路株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉市中央区都町1-19-1
計画期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：舗装工事業
② 事業の規模	平成30年度 元請完成工事高 4億8千万円（千葉市内）
③ 従業員数	25人（正社員22人、常勤関係職員3人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p style="text-align: center;">中間処理工場</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">施工現場</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、コンクリートがら、アスファルト・コンクリートがら、建設混合廃棄物</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">委託処理 (中間処理)</div></div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
 <pre>graph TD; A[安全環境課長] --- B[処理計画統括責任者]; A --- C[工事課]; A --- D[安全環境課]; D --- E[処理計画作成担当];</pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ① 路上再生工法等の発生抑制工法を施工 ② 廃棄物の種類別に収集体積エリア区域設定により分別回収を実施 ③ 廃棄物種類別に分別収集を実施	
② 計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ① 発注者と排出抑制について積極的に協議提案し抑制に努める ② 混合廃棄物を削減するために分別収集を行う	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類別に分別収集を徹底し、混合廃棄物の削減に対する意識向上をする。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別収集を徹底し、混合廃棄物の削減を図る。	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設が無いため実施していない。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も予定無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社の処理施設が無いため実施していない。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も予定無し。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) これまでに自社で埋立処分または海洋投入処分を行ったことは無い。	
② 計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も埋立処分または海洋投入処分を行う予定は無い。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組) 委託の際は再生利用している登録処理業者を選定使用している。		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状を維持する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（平成30年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	排出量	180 t	45 t	28.99 t				
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	排出量	150 t	40 t	20 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（平成30年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（平成30年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t				
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（平成30年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（平成30年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	180 t	45 t	28.99 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				
	再生利用業者への処理委託量	180 t	45 t	28.99 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	鉦さい	がれき類	建設混合廃棄物				
	全処理委託量	150 t	40 t	20 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				
	再生利用業者への処理委託量	150 t	40 t	20 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t				